学校の部活動に係る活動方針　　科学技術高等学校

生徒の実態

１年次には多くの生徒が入部するが、２，３年生への進級に伴い、継続率が低下する傾向がある。運動部，文化部ともに部員数の維持・確保に取り組む。

学校や地域の実態

①大会での上位入賞や前回よりも上位の成績を収めることを目標にし，日々の練習を熱心に行っている。
②地域も協力的で部活動に対する期待も高い。

設置部活動

【運動部】
陸上競技，新体操，自転車競技，ライフル射撃，柔道，サッカー，テニス（男子）テニス（女子），弓道，卓球（男子），バレーボール，バスケットボール，野球

【文化部】
美術，茶華道，放送，電子技術，デザイン，メカトロ，ＥＳＳ，情報技術，応用化学，ボランティア，機械研究

指導力向上

①最新の研究成果等を踏まえた科学的な指導内容，方法を積極的に取り入れる。
②多様な面で指導力を発揮できるよう，継続的に資質能力の向上を図る。

ねらい

①部活動を通して体力や健康の増進，技術や知識の習得を図る。
②好ましい人間関係の構築を図る。
③生徒自身の自己肯定感を高める。

活動計画、時間

①平日の活動時間は２時間程度，学校の休業日は３時間程度とし，合理的でかつ効果的な活動を行う。
②休養日は，学期中は週当たり２日以上設ける。
・平日は１日以上設ける。
・土日は１日以上設ける。
・年間５２日以上の部活動休養日を確保する。
③朝練習は原則として行わない。
☆上記を基準とするが，大会や学校行事等を考慮し，年間を通した中で効率的，効果的な部活動を行い休養日を確保する。

評価と改善

①生徒や保護者の多様なニーズや意見を把握し，生徒の主体性を尊重しつつ各活動の目標や指導の方針を検討し設定する。
②活動を通して生徒の意見等を把握する中で，適宜，目標・計画等を見直していく。

感染症対策

①健康チェックを行う。
②随時、換気を行う。
③食事前に手洗いを行う。

保護者の願い

部活動参加により規則正しい生活習慣の確立と社会性や人間性の伸長を期待している。

地域の要望

①就職先の企業等は，３年間の部活動を通して心身共に成長した生徒を望んでいる。
②学校と地域が協働・融合し，部活動のための環境整備を進める。

部活動指導員等との連携

①必要に応じて，地域の優れた指導力を有する外部指導者と協力・連携を図る。
②学校現場における適切な指導者の選定を図る。

危機管理体制

①生徒の心身の健康管理，事故防止，体罰・ハラスメントの根絶を徹底する。
②共同管理体制や緊急連絡体制を確立し，不測の事態に対応できる環境を整える。

熱中症対策

①高温多湿の環境条件を把握し、活動の中止又は運動量の調整を行う。
②熱中症発生時の共通認識を図り適切な対応を行う。

体罰等の防止

①体罰等が許されないことの意識の徹底を図る。
②行き過ぎた指導や部活動の運営が，体罰やハラスメントにつながることがないよう定期的な研修を行う。